

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【13】」

2. 日時：令和6年1月11日 14時00分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

(核燃料施設審査部門)

甫出安全審査官

(地震津波研究部門)

吉村技術参与

GNS Japan 株式会社：

最高技術責任者 他4名

原燃輸送株式会社：設計・開発部 開発 Gr マネージャー 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1-1 補足説明資料 第四条 地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料（令和5年12月14日提出資料）
- ・資料1-2 補足説明資料 第五条 津波による損傷の防止 津波に対する安全機能維持に関する説明資料（令和5年12月14日提出資料）
- ・資料1-3 補足説明資料 第六条 外部からの衝撃による損傷の防止 竜巻に対する安全機能維持に関する説明資料（令和5年12月14日提出資料）
- ・資料1-4 (地震・津波・竜巻)特定兼用キャスクの型式証明に係る CASTOR<sup>®</sup>geo26JP 型の申請書への NRA コメントへの回答（令和5年12月14日提出資料）
- ・資料1-5 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第四、第五、六条関連）（令和5年12月14日提出資料）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	なるほど。
0:00:02	規制庁の松野です。
0:00:04	それでは時間になりましたので、
0:00:08	GNSの型式証明の基準適用性のヒアリングを始めたいと思います。本日は、
0:00:20	地震の、
0:00:21	メインですね。はい。その資料を用意していただきましたので、まずは資料に沿って説明をお願いします。はい。
0:00:33	GNSJapanのサエグサですよろしくお願いします。
0:00:37	それでは資料の1-5がパワーポイントでございますので、
0:00:41	これで説明いたします。
0:00:43	藤さん、目次を見ていただきますと、一応、
0:00:47	四条五条六条に渡って説明資料になっておりますけれども、
0:00:54	主に四条地震について説明させていただきたいと思います。
0:00:59	といいますのは他の56条につきましては、これまで説明していた通りで、特に変更はございません。
0:01:10	パワーポイントの資料の、
0:01:17	4、
0:01:18	4ページからん。
0:01:21	規則への適合性について説明いたします。
0:01:27	これにつきましてもやはりこれまで説明してきたところと変わりがないところは、簡単に済ませたいと考えています。
0:01:36	4ページのOGに対する、
0:01:41	適合性、これについては特に変更ありません。先行例と同じでございます。
0:01:49	ただ
0:01:51	規則解釈第4条第2項における、
0:01:54	考え方で先行例はキャスクの構造が、
0:01:59	ナイトウ中性子遮へい材、電熱品がイトウの多層構造になっているところ。
0:02:05	呉本キャスクは鋳鉄一体構造であるので、そのため、安全機能を担保する部位が先行例と異なります。
0:02:14	以下同じです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:15	次に、5 ページに参りまして、具体的な設計方針について述べておりますけれども、
0:02:22	これについても、特に今までと説明と変わりありませんので、省略させていただきます。
0:02:28	次 6 ページ。
0:02:30	につきまして、
0:02:32	審査ガイドへの適合性についてですが、
0:02:35	先行例との比較の右側の欄を見ていただきますと、先行例ではトラニオンにより、貯蔵架台に固定するのに対しまして、キャスク本体の溝部、
0:02:46	及び下部接触部、
0:02:48	固定装置により固定するところが異なっております。
0:02:52	その他は同じです。
0:02:55	それから 7 ページに参りまして、
0:02:58	やはり審査ガイドへの適合性の続きですが、
0:03:02	先行例との比較において、先行例では、応力評価式でラインの応力評価を行っているところ。
0:03:11	本申請では、有限要素法解析コードを使って、静的解析を実施評価いたします。
0:03:21	それから、構造健全性評価として、先行例におけるトラニオンによる光学方法と異なり、キャスク本体溝部と、
0:03:30	キャスクの下部接触部が評価部位となります。
0:03:35	次のスライドで、
0:03:37	具体的な図示をしておりますので、説明いたします。
0:03:42	スライドの 8 ページは、このキャスク本体による固定方法ということで、
0:03:47	左側に、
0:03:48	垂直鉛直に
0:03:51	二つキャスクを
0:03:53	下の方で固定相似、四つの方向から、ブルーの固定装置において、
0:04:00	エミ俗に、固定装置の日、下と電話した分と言いますかそれが、
0:04:04	はめ込む形で固定します。さらに、その固定装置の下の方では、
0:04:11	偏心ボール等によってこれをやはり地方から、
0:04:15	降雨挟み込む形で、横滑り等を防止する設計になっています。
0:04:23	その辺のところは、下の方ミイが図でもお示している通りであります。
0:04:31	それから次のページに参りまして 9 ページ、これは実際の基本方針、荷重及び荷重の組み合わせと許容限界についてお示したもので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:43	あります評価基準については、概ね弾性範囲内ということで、
0:04:48	考えております。
0:04:50	それによって構造健全性評価、機能維持評価を行います。
0:04:55	次のスライド 10 ページで、
0:04:58	設置許可基準規則への適合性でございますが、
0:05:03	図で説明しますと左側下積みは実際の、
0:05:08	安心する行動における計算モデルのメッシュをお示ししています。
0:05:14	さらに、下の方にお示してありますが今回、
0:05:20	は、
0:05:21	固定装置の阪神北小と言われるところ。
0:05:25	それからキャスクの溝部との間に、
0:05:28	□の隙間があるということを仮定して評価を行っています。
0:05:34	保守性のところを見ていただきますと、一応温度としては、
0:05:38	高い温度□を用いています。
0:05:42	水平方向の地震荷重が一つの固定装置で指定される場合が、キャスク本体に対して最も大きな荷重が作用するので、この場合について評価します。
0:05:55	つまり、固定装置は四つの方向からキャスク押さえつける設計でございますけれども、隙間があるということで、
0:06:05	実際、水平方向の水平荷重が加わったときに、
0:06:09	右下の図にありますように赤い矢印のように、
0:06:13	この場合ですと右側の方にこう傾くような力があります。その際に、
0:06:20	固定装置の下部と未曾有の間の隙間が閉じられて、
0:06:26	この一つの固定装置でもって、キャスクの転倒を防止するという考え方が最も保守的な、考え方を最も大きく、
0:06:37	固定装置に働くということでこの場合について評価をしております。
0:06:43	11 ページに参りまして、
0:06:46	さらに詳細を見ていただきますと、
0:06:49	A、
0:06:51	固定装置のした分が、
0:06:55	溝部にはめ込まれて、さらにそのキャスクが傾き始めるときに、
0:07:01	この左の図の経路 1 で示します、思考力がキャスク本体に加わります。それを暗室コードで計算した結果、□ Paということがわかっております。
0:07:15	その右側の図、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:18	2 参りまして、経路 2 という、
0:07:20	宝庫経路で、
0:07:24	どんな荷重が働くかを計算したところ、
0:07:29	思考力に加えて曲げ応力も加わると。
0:07:34	ということで左右側の、
0:07:37	結果を示しますと、
0:07:39	赤井千賀が抗力面思考力だけでブルーの線が抗力と揚力クワタ線。
0:07:49	は、それぞれ <input type="text"/> Paと、 <input type="text"/> Paの力が加わるということがわかっています。
0:07:58	その下の文章をちょっと書きましたけれども、
0:08:02	このキャスク本体の溝と固定装置のした分との接触面では、
0:08:07	キャスクの水リメイン圧による応力がかかります。
0:08:11	評価のため、抗力は溝口中央の 01 の上で、
0:08:16	線形化されています。偏心荷重により、キャスク水は、思考力だけでなく曲げ応力を受けると、能力は経路にを介して線形化されています。
0:08:28	その結果抗力と伸びよう力が評価されると考えています。
0:08:33	左側の図にした左河津 ですがこれは、
0:08:38	キャスクの下の部分の断面を示しますちょっとわかりにくくて恐縮ですけれども、
0:08:44	いや、真ん中より右側のところに、このボアホールここに中性子遮へい棒が入る方でありましてけれども、その位置を示しています。
0:08:53	で、右側から、固定装置が、
0:08:56	キャスクをただくように
0:08:59	横滑りを防ぐような固定方法をとっています。これについて、
0:09:06	やはり算出コードで計算した結果 <input type="text"/> MPaの応力強さが、
0:09:15	評価されました。
0:09:18	次のページに
0:09:21	評価結果のまとめを示します。
0:09:27	キャスク溝部の経路 1 におきましては 1 時間抗力 <input type="text"/>
0:09:32	これをSIと比べる、SIは <input type="text"/>
0:09:36	それからキャスク溝分の経路について、
0:09:40	1 時間抗力とフジイ膜+曲げ応力、それぞれSyと比べております。
0:09:46	さらに、キャスク下部の接触面積のところで見ますと、1 時間抗力が <input type="text"/> いうことで、これも評価基準であるSyと比べてかなり小さく、
0:09:58	結果として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:01	応力は評価基準未満で、構造健全性が損なわれることはなく、
0:10:06	キャスクは検討しないという結論を入れております。
0:10:12	それ以降は、
0:10:14	バスケット 1 課に対する評価として、これまでもご説明してきたので、
0:10:20	省略いたしたいと思いますが、
0:10:23	14 ページの、
0:10:26	右上の図、これだけ説明させていただきます。
0:10:30	これは
0:10:33	中性子遮へい材ボアホールと、光熱費に発生する応力を評価したものであります。
0:10:40	実際同じ力が、このエーワンとかⅡの面積のところに働くわけですが、令和の負担面積がずっと大きいので、
0:10:52	別に働く応力、
0:10:54	に対して健全性を実施すれば、ワンの方も健全性を維持すると、つまりエーワンっていうのは、熱水とか、中性子ボアホールを支える部分ですので、
0:11:06	これについて健全性が維持されると機能が維持されるというふうに結論づけているところであります。
0:11:15	ドイコウを、15 ページにつきましては、
0:11:19	今述べました。
0:11:21	評価の結果をまとめています。いずれも弾性範囲内ということで
0:11:31	機能的に、自治、弾性範囲となりますので閉じ込め機能とか、臨界防止機能閉じが損なわれることはない結論づけております。
0:11:42	それから、地震時に一時ウタに作用する慣性力、
0:11:46	締付時のボルト荷重による、
0:11:48	摩擦ゆっくり小さく渋谷ずれも生じません。さらに、地震時において、中世社エーザイ、
0:11:55	ボアホール及び光熱費に発生する応力は、
0:11:59	キャスク本体下部接触に発生する応力よりも小さいので、
0:12:04	遮へい機能及び除熱機能が損なわれることもありません。したがって、地震時にこのキャストール型の安全機能は維持されると結論づけております。
0:12:14	以降 16 ページは、第 5 条、それからさらに、
0:12:18	第 6 条関係での適合性の評価結果でこれまでのご説明と変化ありませんので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:26	説明は省略させていただきます。
0:12:32	とりあえず、用意しました資料の説明とさせていただきます。
0:12:38	はい、規制庁松野です。
0:12:41	では質疑応答の方に移らせていただきますけどもう今説明があった地震時、こちらから社名審査での指摘事項として、
0:12:54	その固定装置にかかる、
0:12:57	地震時の動的挙動っていうところが結構ポイントになってくるかと思えますので、ちょっとその点を中心に、幾つか確認したいと思いますけども。
0:13:10	こちらから何か質問、確認等ありますでしょうか。
0:13:23	増えた。
0:13:24	規制庁の吉村です。
0:13:26	今ご説明ありがとうございました。
0:13:33	ちょっと今の説明よりもちょっと深くちょっと入るんですけど、
0:13:40	前回いろいろコメントを差し上げてその中で国井もう一度確認させてもらいたい点があるんですけど、
0:13:52	まずですね、
0:13:56	隙間が一。
0:13:58	今回どうしても本来の隙間があると動的な挙動が出てくるんですけどそれを制定液位評価。
0:14:05	しなくちゃいけないと。
0:14:07	隙間があると聞い。当然それは保守的なですね考え方をとっていただくという方、当然、前提になるんですけど、隙間があった時の
0:14:18	荷重のかかり方っていうんですかね。
0:14:22	たとえば、ちょっとそこについてちょっと確認をさせて、させてもらいたいんですけど例えば
0:14:29	どのシノいいかな、
0:14:34	補足説明資料の方がいいですかね。例えば、
0:14:38	補足説明資料の 30、
0:14:43	5 ページですか。
0:14:55	35 ページに今回
0:14:59	力が加わったときの隙間の状態ですね。
0:15:04	お礼をつけていただいたんですが、
0:15:07	まずですね、これはベース 2、
0:15:13	共同計算をされてるわけですけど、一つはですね、共同計算の前提として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:21	接触部画面で接触する。
0:15:25	いわゆるキャスクの溝とですね。
0:15:28	それから、固定装置の接触面を、
0:15:33	一応面で接触するという条件で、荷重伝達がするという条件でやられてるんですが、
0:15:40	この隙間が
0:15:41	あった場合ですね。
0:15:43	この隙間の大きさ <input type="text"/> 多分よと思うんですけど、
0:15:48	ちょっとこれ面で接触するというよりも、例えば固定装置は、
0:15:53	直接の状態であって、
0:15:56	キャスクが右側に傾きますよね。
0:15:59	そうすると隙間がなければ、一緒に倒れんですけど隙間があれば、
0:16:04	当然角度が、
0:16:07	できますよね。そうすると、
0:16:09	固定装置等、
0:16:14	固定装置の面と、それからキャスクの溝部の接触面がですね、連動しがぶつかるのではなくて、角度ができるので、
0:16:26	面で言えば線線で接触するっていうんですかね、断面で言えば、
0:16:31	いわゆる分布荷重的な問題よりも集中化中で、
0:16:35	端部に荷重が加わるというふうに想定を
0:16:39	するんですが、その辺ですね、
0:16:45	交えるさんの方は一応こういう絵を書いていただいて、
0:16:48	てるんですがその接触面での荷重のかかり方が面で伝達されても問題ないということについて、もう一度その辺、考え方を説明していただき、
0:17:00	いければと思います。
0:17:05	GSジャパンの三枝です。
0:17:08	はい。
0:17:09	今、35 ページの図を見ていただきましたけども、
0:17:13	35 ページの上の方では、確かに隙間が <input type="text"/> あるという前提で
0:17:21	見えています。それで地震が起きて、
0:17:26	キャスクが右側に傾くときに、その隙間が閉じられると考えています。
0:17:31	閉じられた結果、その 36 ページの、
0:17:36	経路 1 に相当する圧力が目安がかかって、その計算をしたところです。確かにおっしゃる通り最初はアノ線で接するかもしれませんが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:47	だんだんこう傾いていって、最も大きな荷重がかかるのはこの面接触な った時に働くと。
0:17:55	いう考えで計算しているところであります。
0:18:01	同じように 37 ページは、
0:18:06	せん剪断応力、
0:18:09	これについてもを計算したところであります。
0:18:25	と規制庁のヨシムラです。
0:18:28	藤御説明。
0:18:31	それで
0:18:34	だんだん傾いてって最後は接種面と接触する。
0:18:38	という城他いいとおっしゃったんですけど、
0:18:43	ちょっとこれ力学的な話になってしまうんですけど、ご存知の通り、
0:18:49	小石の方も千葉り的な評価ですよね。水溝部で言えば片持ちばり。
0:18:56	そこに
0:18:58	均一に面でかかる荷重等、それから端部に集中荷重でかかった場合 を、
0:19:06	比較してみた場合、
0:19:08	端部で集中荷重がかかった方が、
0:19:11	力学的に言うとモーメントが二倍になるんですね。
0:19:17	2 倍かかるんで、西大寺どこかっていうと、最初に接触してる状態で最 大値がかかるんじゃないかなというふうにならうんですけど、
0:19:28	その辺ですね。
0:19:31	溝溝の炎大きさにもよる。
0:19:34	よるかと思うんですけど、その辺の考慮が必要ではないかというふうにな らうんですけど、
0:19:40	考えてるんですけど、その辺、
0:19:44	そういった確認とかですわねちょっと荷重の当たり方を変えた確認とかそ ういうことは出されてないんでしょうか。
0:19:58	で変えた方がですね、ご質問は理解したつもりですけども、
0:20:03	衛藤先ほどさんすいませんけど、
0:20:08	説明してください。
0:20:50	私が今言った意味がですね。
0:20:59	ハヤシfor
0:21:02	木場。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:03	そうですね。
0:21:04	はい。
0:21:08	ここ 2、
0:21:12	こういう感じで、
0:21:21	これこてんこてん装置みたいな。違う。
0:21:28	この、この
0:21:31	いわゆるこの面で、
0:21:34	荷重を受ける人が今、御説明。
0:21:40	これ、
0:21:47	ホンダゴコウスベン摩擦係数っていうのは、
0:21:51	かなり小さいですから、ちょっと滑る。
0:21:54	当然すべく、そうすると、
0:21:58	例えばその中心的な、
0:22:03	やすく、
0:22:05	カスクが今、
0:22:07	これが並行である状態から、
0:22:11	違う。
0:22:14	違う。
0:22:17	ここういうふうに、
0:22:22	また
0:22:23	春日。
0:22:25	こちらにかかるわけですよ。
0:22:29	特に傾くと。
0:22:45	もう、
0:22:47	何か要するにそれと並行だから、
0:22:51	なかなかこういう、
0:22:55	角度が、
0:22:58	生じますよね。こっちが、要するにここで接触するのではなくて、
0:23:04	ここで接触するような、
0:23:06	形。
0:23:10	ネット自体が、
0:23:14	ちょっと、
0:23:20	こんな感じになって、
0:23:22	ここで抵触するとなると、
0:23:29	今この、多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:32	ループた中で、
0:23:34	荷重が全部使う。
0:23:36	やつが、実際に
0:23:43	はい、どうぞ。
0:23:45	そうすると、
0:23:47	ここの芸能なんていう方面等の大きさっていうのは、
0:23:54	持ち上げる他で集中。
0:23:57	だから、今実際経済計算よりも、
0:24:01	パイルモーメントがもう少し大きくなる。
0:24:05	見えるんですけど、
0:24:07	その辺がだからマクリーハウスの、
0:24:10	ちょっと表現もよると思いますけど、
0:24:12	この新美カネダ
0:24:14	この上縁がキープされ、されてる。
0:24:22	だってさ、途中、
0:24:25	安野畠埜。
0:24:29	個人傾くけど、
0:24:32	だけど、結局、これが、
0:24:35	跳ね上がる。
0:24:36	だから、要するに、これが閉じる。
0:24:41	ここがなくなるわけです。
0:24:45	そこが閉じるような形です。
0:24:49	拠点にした。
0:24:51	ここの土地
0:25:01	が閉じるというのはちょっと理解。
0:25:04	どうですか、ちょっとわからない。田丸。
0:25:08	どうですかね、これ。
0:25:11	そうなったらここは終わる。
0:25:20	だから、そして、
0:25:24	形。
0:25:28	持ち上がるっていうかここ、ここは完全に、
0:25:32	書ければなっちゃうから、
0:25:34	どうなのか、そんなものがコウヒライ。
0:25:45	いや、要はこれがこう見て馴染んでくれたらいいんですけども、
0:25:50	なじむような、何か説明ができれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:55	今ちょっと今、実際、動的なものなので、
0:26:00	どっちがせいかってははっきりとわからない。
0:26:03	わからない。我々はそう思うんですけど。
0:26:06	多分それと軸っていう説明もちょっと今ひとつ、
0:26:12	ちょっと全くできないなっていうところはあるんですけど。
0:26:15	基本的にはやっぱり。
0:26:21	保守的な方法でなるべく、過重な関わり方を評価してもらった。
0:26:28	アノ。
0:26:30	今結構余裕があるので、
0:26:32	この場合、多分、
0:26:34	片側に当たるっていうふうに計算して持つんじゃないかなと思うんですけど。
0:26:39	ちょっと計算結果、
0:26:44	ブレースは今動的な問題そう的に評価しなきゃいけないんで、
0:26:49	今回例えば固定装置を一つで評価する。
0:26:54	またサリーというようなことで、保守性を入れてもらってましたよねそれは非常に我々も上昇する点でありますし、いいと思うんですけど、
0:27:04	もう一つ計算条件の中にもう少し保守性をね、
0:27:08	含めた、極端な話こういうやつがあれば、一番、例えばこのファンドで全部圧縮を受けるっていうふうにやっちゃえば、最も
0:27:19	タナハシ。
0:27:20	ここで全部鍛冶が、
0:27:22	集中度に当たるっていうと多分、一番、
0:27:25	モーメントで一番厳しいな。
0:27:29	極端に言えばそういうことです。
0:27:31	例えばこういうところで、駐車場、
0:27:34	形で、
0:27:35	評価してもらって、確認してもらおう。
0:27:38	必要じゃないかなというふうに思って。
0:27:41	だから、
0:27:42	程度 1 とか 2 とかっていうやつはカミデ考えたら、
0:27:50	こんなもんで、
0:27:52	ここで当たるんだったら、
0:27:57	今、ここの検討のベースっていうのはどうなってるかっつたら、
0:28:04	ボールアベ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:07	こういう荷重の当たり方で、
0:28:09	計算されてると思うので、
0:28:12	そうすると、
0:28:14	どちらがきついかつつたら、
0:28:17	これ難しいですかねこの
0:28:19	中でも集中化。
0:28:22	それはあれやんか。
0:28:24	ここで集中荷重で当たると。これと、どっちかどうかつつたら、
0:28:30	端とこれだったら、2 番、2 倍ですよこれ。
0:28:36	はい。
0:28:38	終わって、
0:28:40	これと同じようなモデルで考えると、
0:28:44	これ集中化上これして、
0:28:48	ループ荷重を、
0:28:52	はあ。
0:28:54	このモデルっていうのは、うちの方で、
0:29:02	まあ、それはあるとすると、
0:29:14	イイダと。
0:29:26	だから、
0:29:27	このWと、
0:29:31	多分、
0:29:33	これ。
0:29:36	だから、
0:29:37	要は、これでやったら、
0:29:40	仮にここで語りしましたと、こういう仮定を置きました。それは、ここにギャップがあるからです。
0:29:47	で、これでやると、
0:29:49	断面のどこを評価するかっていうところであるんだけど、恐らくは、
0:29:55	こっちの方が、
0:29:57	馬郡鹿庭イナガキフクマケットク 2 倍センター文書。
0:30:01	それから、
0:30:05	トータルトータルヒライにはならないけど、実際にまだないね。
0:30:14	こちら側、
0:30:16	だから、
0:30:20	このポイントのやつで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:23	いや、
0:30:31	どっちか忘れたけど、いずれそこでも名等が大きくなる。
0:30:38	まあまあ、ここ中心とこっちとこっちがウダ。
0:30:45	だから、要は、
0:30:47	このギャップを考慮して、ここで語りしましたっていうことで、
0:30:51	要は、集中荷重として見ましたっていうことであれば、や、やはり、こちらのことを考えたいんだなっていうことだし、ヤマジコウはて、
0:31:02	コウノるっていうのはここは常にベタ的についてここに荷重が常に乗っかってるようなモデルだったら、これでいいですねっていうことになるんですけども、
0:31:10	ギャップがあるかどうかわかんないとか、その荷重のかかり方が不明であれば、保守側の考え方っていうことであれば、集中荷重で考えた方が、
0:31:22	説得力があるというか、常にこの状態じゃないんだけど、語りを考えているんだねという説明になると思うので、説得性が、
0:31:32	高まるんじゃないかなと考え、
0:31:59	一番最初に基本的な
0:32:02	評価します。
0:32:10	どちらも、
0:32:12	全部で、
0:32:14	モーメントかな。
0:32:17	これっていうのは保険全体。
0:32:46	概略計算してとか、
0:32:49	こっちを超えコマツない。
0:32:55	ロシアがちょっと大きくなる。
0:33:00	だからそのWヨシオカWは、
0:33:03	ここでSD考えたら、
0:33:06	そうだから、
0:33:11	経路1のところだね、経路のところ準センターとします。
0:33:17	そこで、曲げとせん断考えますという、そういう説明してもらえれば、もう十分じゃない
0:33:25	ところはない。
0:33:26	もっと、
0:33:28	こうあるのこの部分だけで考えてるその保守側なんですよこれ。
0:33:33	要は、これリングであるから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:39	薄板の面と、
0:33:43	ちょっといくつか、
0:33:59	GNSJapanのサエグサです。
0:34:02	今のご指摘ご質問に対して、
0:34:08	直ちに、説明できませんけれども、多分そういうことも考慮してこういう評価になっていると思いますけれども、それはもし、
0:34:18	後日説明させていただければと思います。
0:34:27	ですよ。
0:34:30	規制庁松野です。
0:34:33	一応これヒアリングの場で指摘ではなく、指摘としては一応書面審査会合の指摘事項として、
0:34:43	今のコメントも含めて、
0:34:46	補しますので、
0:34:50	そこで、
0:34:52	今の三枝さんの回答では、
0:34:55	集中化中、
0:34:58	もう、
0:34:59	否定できるのか否定できないのか、否定できないのであればそれも保守的に考えた上で一応確認すべきではないかというところが、
0:35:09	今の多分、
0:35:11	こちらからのコメントになりますので、それを踏まえて、どういう回答になるかちょっとわかりませんが、少し検討の、
0:35:21	お願いできればと思います。
0:35:34	このヒアリングが、この前12月14日に出していただいたこの資料の、
0:35:39	に対して、正式な書面審査、
0:35:43	指摘事項、
0:35:45	出す前に戸田なしヒアリングでもう解決できるんだったら、それで、
0:35:50	指摘としては出さないってことですね。
0:35:54	いやもう、これはもうすでに昨年の中旬に、もう書面審査会合し資料として受理してますので、そのための事実確認としてこの場を設けてますので、
0:36:07	正式な指摘は、また書面として出しますので、
0:36:13	その際、多分同じような指摘が出ると思いますので、それに向けて、ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:20	この事実確認ではだから、そうです。その事実確認をさせてもらっていないここで解決というかこういう理由なんですっていうのでこちら側が理解できたら変な話、
0:36:34	その指摘から落とされるわけじゃないですけど、っていうこともあるから、
0:36:41	確認ですよ。で、ここですか、
0:36:45	回答とかがなければ、
0:36:47	構成式の書面、さあ、
0:36:49	指摘事項として、何週間後かに出されると。
0:36:53	いうこと。
0:36:54	ですよ。
0:36:56	そうですその集中荷重としてその考慮する必要がないっていうところが、何らかの根拠なり回答が行って行ってこちらも納得すれば、
0:37:05	追加の指摘はないと思うんですけども、
0:37:09	あそこが、
0:37:10	どうかによっては、多分、また追加の
0:37:15	指摘になると思いますので、
0:37:18	そこは再度、
0:37:21	はい。千野ジャパンのサエグサ津。
0:37:24	了解しました。今この場で、集中荷重よりも面圧ありで評価してることの、
0:37:32	根拠、妥当性の説明ができなければ、
0:37:39	ゆくゆくは審査会合での指摘があるかもしれないということを踏まえて、
0:37:44	説明をちょっと、
0:37:46	考えてみたいと思います。
0:37:54	その他この溝部の評価の中で、
0:37:58	確認したい点があればお願いします。
0:38:24	すいません。
0:38:26	すいません。
0:38:29	今の
0:38:31	具体的な数字はちょっと、
0:38:33	失礼しましたマスキングの箇所になると思います。
0:38:36	今
0:38:38	クリアランス呉の設定にあたってですね、熱収縮、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:44	にプラスアルファをして、保守的に決めてると。これに機械加工の誤差
0:38:52	を加えて、
0:38:54	決められていると。
0:38:55	ここに設定されてる数字に、
0:38:58	決めたというふうにあるんですけど。
0:39:00	ちょっとそんな考え方もう一度ちょっと説明をしていただきたいんですが、
0:39:06	熱収縮っていうのは結局
0:39:20	イソザキさん。
0:39:23	熱収縮ってのは結局夫温度が下がって、
0:39:28	初期の、
0:39:29	一番高い状態で入れた状態で、一生膨らんでるっていう状態な。
0:39:34	その状態でスタートして熱収縮して冷えてって、
0:39:41	クライアントができると。
0:39:43	それに、
0:39:44	機械加工、
0:39:46	必要な誤差を入れて、
0:39:49	所定の、
0:39:51	フランスは決めてるというふうに理解してるんですけど、
0:39:59	機械加工のう。
0:40:00	す誤差っていうのがね、今回いただいてルー資料、
0:40:06	プラスと。
0:40:10	僕だったらさっきの熱。
0:40:16	熱収縮目だったかな。
0:40:21	29 ページですね、
0:40:24	補足説明資料の 29 ページG2、
0:40:28	支持部の形状の寸法が載ってるんですけど、
0:40:33	これで
0:40:36	ここ 2、
0:40:39	寸法の横に出てるのがこれ機械加工の後さあ、
0:40:44	プラスマイナスの誤差だというふうにちょっと思うんですけど。
0:40:48	そこちょっとこの数字言えないのかもしれませんが、
0:40:53	そこで出ているプラス側の、特に溝分ですね中間、左側の図で中部、中間部には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:00	あります呉溝呉がプラス側に出ている。
0:41:05	寸法ありますよね。
0:41:07	それーそれプラス、さっきの熱収縮。
0:41:14	の数字が出されるんじゃないでしょうかねもし出されるとなるともう少し大きなクリアランス。
0:41:22	になるような機会確保の誤差を入れると、いうふうになるというふうにちよつと。
0:41:26	図面から見るんですけど、この辺、それを含めて今設定した数値で、
0:41:35	セキネ抑えるという、おっしゃってるそのちよつと根拠についてもちよつともう1回説明、具体的に説明していただきたいと思います。
0:41:47	はい。DISジャパンのファイルです。
0:41:50	確かに、29 ページの図 1-8 には、
0:41:54	溝部の誤差が書いてありますけれども、
0:41:59	多分、
0:42:00	これをコウ、
0:42:02	先ほどの熱収縮による呉、
0:42:07	寸法と合わせて最終的に保守的な仮定をしたところであります。
0:42:12	そこら辺のところはどのように、最終的な仮定に至ってるかっていうのは詳細はこの場でお示してませんけれども、
0:42:21	ちゃんと説明できると考えますので、今手元にないので、この場では説明できませんが、
0:42:28	お時間いただければ説明いたしていただきたいと思います。
0:42:40	それではちよつとその辺今私どもの方のコメントを踏まえてですね、ちよつともう一度具体的に説明を後日お願いしたいと思います。
0:42:55	はい。
0:42:57	書きます。書いたほうがわかりやすい。
0:43:02	しかも、リリースしてもいいですか。
0:43:22	規制庁の方ですけれども、結構いろんな取り、要は寸法も、いろんなところの寸法の公差が入ってるんで、
0:43:32	ここを考えましたってということで、全部考えまして、すごい面倒くさい話になるような感じがしています。その辺が、
0:43:43	今のこちらのヨシムラさんの確認のところ、
0:43:49	関連するんですけども、要は、網羅されてるのか、いや、全体で、例えば、これだけのいろんな瀬、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:59	例えば、設計貯蔵期間中に、こういう状態からこういう状態になったときに、最大コレグラフ空いてしまう可能性がありますと。
0:44:11	だから、その間のこのギャップっていうのは、例えば何ミリ程度まで許容できる設計とするという考え方も一つあると思うんですね。
0:44:23	ですから、あんまりこう細かく、1個1個寸法詰めていただいて、幾つだどうだっていうふうなことを、
0:44:33	やってもそれで全部カーとかっていう話になってしまうので、少し設計の考え方としては、これだけのギャップがあっても十分に耐えられますよというふうなね、
0:44:45	ご説明をされた方がいいんじゃないかなというふうになら、
0:44:50	最終的に
0:44:53	この全体のね、今のこの補足説明資料の書きぶりから見ると、そのような、そのようなことを考えた上で、そのギャップに対して例えば型、先ほどみたいな方たりすんのか。
0:45:07	いえ、その辺の全体の剛性考えたベタッと当たるんですよ。だから、これは、集中荷重にする必要はないんですよとかっていう話が進んでいくと思うんですけども、
0:45:19	少し、確かに黄砂ってすごい大事ですけども、何が大事だったら、どれ、どれだけの例えば隙間なり何なりを共有するっていうところがある非常に重要だと思いますので、
0:45:32	そういうことで少し整理されては、いかがではないかなというふうに思います
0:45:38	あくまでもこの資料読んだ範囲で、いやここだけで本当にいいのかなと、もっと考査で考えるべきところあるんじゃないかなというふうなところを見て、
0:45:49	もう少し
0:45:52	全体でこの範囲、例えば、
0:45:55	今の今の、例えばギャップの、
0:45:58	1.5倍なのか2倍なのかわかんないですけど、そこまではいかないよっていうことをある程度抑えた上で、その範囲で、これ以下に抑える設計としますというのも一つの言い方ではないかなと。
0:46:08	考えておりますので、ちょっと御説明に、
0:46:13	資料を最終的に仕上げられる時にですねというふうな形が一番、要は説明もしやすいし、こちらも理解しやすいかということをお考えいただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:59	産地Japanサエグサです。了解しました。
0:50:10	この詰め方ってJNESがコウ抱き合わせで売るんですかというかGNSが、
0:50:17	審査対象外ですけど、
0:50:20	ここ、書いてもらった、作るんですか。
0:50:25	全然技術的な感じじゃないですよ。変な話神さん、こういうふうな設計で持ってくけど、
0:50:31	結局キャスクGNSだけど、詰め方は、いや、相手側の電力作るんですよって話なのか、どういう感じを想定してるんですか。
0:50:43	今これ詰め方で、ガチガチに固め、
0:50:47	まずってような説明ですよね一応傾いて7日目なのかわかんないんですけど、
0:50:55	倒れたとしても大丈夫という説明を今からしようとしているので、間詰め方が結構大事なと思うんですけど、そこら辺は今どういう想定されてるんですか。すみませんちょっとこう、
0:51:06	数値とかじゃないんですけど、
0:51:08	はい。支援スパンのサエグサです。
0:51:11	爪の形とかその辺の製造っていうのは、確かに設置許可の時の話なので、
0:51:20	ですけども、いずれにしてもその辺の場合にも、自営ですわ。ちゃんと意見交換をして設計について、
0:51:28	ちゃんと
0:51:33	考え方が合うように、それにするつもりですので、
0:52:04	すみません規制庁の方ですけども、だから申し上げたのは最初の条件としてどうする、どういう設計としますかというところで、ここは最初からもう、例えば一つの考え方として、寸法調整をやって、
0:52:18	ギャップを初期に開けない設計とするって書けば、そっから、要は、後の評価っていうのは、気時間がたてば冷えてきたり、どうだこうだっていうところで、
0:52:28	どうなりますかと、そのは、だからそこスタートポイントがどこにありますかっていうところで、どう考えるかっていうことだと思っんですね。で、なまじ、
0:52:39	最初の寸法寸法とか何とかが明確に決まんなければ、どんどんどんどんやることは広がってくるし、そうそうそうだから、どこが保守側のことになるか分かんなくなってくるし、そもそもくろみ通りの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:52	要はもともと設計の段階で設計者の人が考えてきた考え方とどんどんずれが出てくる可能性もあると思うので、どっかで、その辺でこういう設計としますっていうところを明確にした上で、
0:53:05	そこからスタート、要はその議論をスタート、考査の考査の考え方、
0:53:11	だけど少なくとも、
0:53:12	寸法調整できるなり、あてたりすれば、少なくともその公差の話っていうのは相当減る。要は、
0:53:19	言う必要のない情報になってくると思いますので、その辺はちょっとお考えいただければと思います。
0:53:26	どのような選択をするかっていうのはもちろん、申請される側の考え方だと思いますので、
0:53:33	その上で、いや、
0:53:35	そんなことやったら別の、要はディスアドバンテージがあるんだっていうことであれば、それはもちろん、
0:53:43	いやそうじゃないんだ。いや我々はあくまでもこういう設計方針で、要は物、物がちゃんと合わせて、ギャップがあっても十分に共有できる設計をするんだっていうのも一つの考え方だろうし、
0:53:55	初期にビシッと合わせてそこからスタートポイントにするんだっていうのも一つの考え方だろうと思いますから、
0:54:01	その辺の、要は、
0:54:03	この全体のこのシステムがどのようにすれば一番信頼性が高いものになるかっていうふうなことをお考えいただいた上で決めていただければと思います。
0:54:13	そこで示された条件に基づいて、どんな条件があるかっていうのはこちら、示していただいて、それで、それに過不足があるか、それで十分かどうかっていうのをこちら、こちら側でいろいろ確認させていただくということになると思いますので、
0:54:29	まず、
0:54:31	説明し、説明しやすいついていうか一番信頼性の高い考え方、スタートポイントはどこかっていうふうに考えていただくと、結構解決の道は早いんじゃないかなと思います。
0:54:46	はい。ジェームスジャパンの三枝です。了解しました。
0:54:55	規制庁松野です。今のその電力への引き継ぎの話なんですけども、
0:55:02	今証明の審査ですので、証明の審査の中では基本設計でその成立見通し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:10	電力の方の実用炉の方の、
0:55:13	設置変更許可、
0:55:15	引き継ぐべき事項があれば、この証明の中で審査しますけども、
0:55:22	じゃあ具体的にどのぐらいこの隙間があるかどうかその製作時に、
0:55:27	その引き継ぎが必要な条件については多分施行人への引き継ぎ事項になりますので、
0:55:34	そうすると多分してから、施行への引き継ぎ事項の際に、少し具体的な定量的なその隙間の話も条件として付すことが必要なのかなと思いますので、
0:55:47	とりあえず今の証明の審査の中では基本設計方針って、一応転倒しない設計。
0:55:55	あとはそのギャップがあるかないかっていうところも結構でギャップがあっても転倒しないっていうことに多分なるかと思しますので、
0:56:03	そういうところはしっかりその成立性見通しの中である程度こう、
0:56:08	考え方、その概念というところはしっかり説明すべきかなと思いますのでよろしくお願いします。
0:56:18	はい。ジェームスジャパンの三枝です。了解しました。
0:56:28	その他溝部の評価で何かこちらが確認したい点ありますか。
1:01:08	はい、HLジャパンの三枝です。
1:01:12	我々はそのモーメントの釣り合い式での計算結果を示していませんので、
1:01:18	それとの比較という意味では、ちょっと、
1:01:21	検討させていただかないと、この場でちょっとお答えできないですけども。
1:01:26	はい。はい。一般論で言えば
1:01:32	伏木で、
1:01:34	計算するよりも、こういう、
1:01:36	FEM計算の方がより正確に近い値になってくると、いうことはいえると思いますけども、
1:01:43	今のようなツチヤ式での計算よりも、
1:01:47	10%ってほど小さくなる理由っていうのは、
1:01:51	ちょっと持ち帰らせていただいて、
1:01:53	またこれも次回、
1:01:56	回答させていただきたいと思います。
1:04:57	はい、JNESジャパンのサエグサ泉。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:00	わかりました、確認します。
1:05:19	あとですね、これはちょっと
1:06:43	持ち帰り、
1:07:07	ちょっと違う。
1:07:18	遅延するジャパンの三枝です。
1:07:22	どこ。
1:07:23	機械学会規格のシアツ荷重の評価のところでは、
1:07:27	イトウ、
1:07:29	許容値に対して抗力、
1:07:33	方法、
1:07:34	比較して評価しなさいとなっているところ。
1:07:38	これ効力っていうの我々の考えたのは、この面圧を受けたときに、溝が受ける思考力ですね。
1:07:46	この思考力を抗力と考えて比較したということになります。
1:08:08	規制庁の方ですけども、
1:08:11	問題。
1:08:12	問題っていうのは、
1:08:35	ふやすっていうのは、ここが足りないかっていうことだと思いますので、
1:08:41	ここが対象になってもいい。
1:08:44	今おっしゃった、表、ここで言う、
1:08:48	やる。
1:08:57	例えば、これを、
1:08:59	実際は無理であるんですけども、管理委員会をしてみれば、ここにその断面発生する。
1:09:09	これは、
1:09:14	うん。
1:09:16	今あるながら、
1:09:23	もうベツプとすると。
1:09:31	なるほど。これは、
1:09:36	ね。
1:09:37	4月ってのはここ、ここも、
1:09:40	から、
1:09:41	これがフナノにハタせる部分でどれだけかかっているかと。
1:09:49	こいつの統一の、この辺りのどれかかかってももちろんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:54	に対して、こうだから、評価対象は、ここで個人が下手をされたかっていうことを、
1:10:00	これが4月の、4月っていうか、押さえ荷重に対する、
1:10:07	構造健全性で、かかり方としては、思考力、試薬効率ということになっております。
1:10:16	今後ですねもう、
1:10:18	もうあって、
1:10:19	だから、
1:10:21	例えば、
1:10:24	米とかそういうことないですね。
1:10:37	には、
1:10:39	こういうふうな支持構造物にタゾエましたけども、これであれば、このコナミの福森が例えば何かこんななったときの、この評価された、ここで、
1:10:50	評価対象冷やすと言われてるような気がするんですけども、
1:10:55	これはシアツないよね。
1:10:57	いうふうに私は認識してるんですけども。
1:11:01	ですから、
1:11:02	これであれば、4月に対しては、この、この面積で、
1:11:07	要は自重がある程度どう下がるかと。
1:11:13	えっと、あとこの、この、こちらのグループの、この公表された部分のセンナというのは、ここであると思うし、
1:11:22	効果があるにしても、
1:11:25	ついでの話ですから、程度に、ここに対しては、
1:11:29	これに対して、
1:11:33	まあ、だから復興であれば、上がかかるし、
1:11:38	行列とタオルとかあるから、33。
1:11:47	までやったら良いですよ。
1:11:51	これがゴトウという形で、
1:11:55	納入業者ということで、これがSIを下回ってるっていう状況になると思うんですけども、
1:12:01	ですから、
1:12:02	要は、この断面でかかっている応力成分、暴力の種類って何ですかっていうところだと思うんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:12	これでいうと、この評価であれば、こういう、こういう対象でやるんだっただらここであろうし、
1:12:18	せん断であれば、5月になってますからこの面積細くなるこっちが厳しいという考え方であれば、そうでしょうし、ここでは、当然付けがありますから曲げモーメントクラウドでモーメントに対してどうですかと。
1:12:32	多分その計算、こちらの方のMMでやられたやつっていうのは、多分この断面と、この断面評価されたということだと思えますよね。
1:12:42	ですから、
1:12:43	先ほどの話で、せん断応力という話で、
1:12:47	ルート3とか何とか出てましたけども、応力値変換されているのであれば、
1:12:52	これが出てるか、これを、これが数値が出れば $2\tau$ ですからこうすると、で、2倍に対して、これが大口土佐、そしてそれに対して、一次一般膜が幾つですかという評価になってると思うんです。
1:13:05	ですから、そういう、そういう観点で、岩瀬、
1:13:10	妊婦さん、これ、支持構造物として見るのかっていうのはあると思うんですけれども、チェックいただければいいんじゃないかな。
1:13:20	はい、JNESパートナーサービスです。どの断面を考慮したかっていう、次回ちゃんと明らかにしたいと思います。解決すると思います。
1:13:44	規制庁マツノです。一応固定装置に関するこちらからの確認事項は以上になります。
1:13:52	私から1点。
1:13:55	確認があるんですけども、
1:13:59	運動の分はホール部と、このフィンの耐震性の評価が、
1:14:11	パワポ資料でいうと15ページ目、ほう素クリード39ページ目。
1:14:18	D、
1:14:23	パワポ資料No。
1:14:29	15ページ目。
1:14:36	リーダー。
1:14:38	ここで、
1:14:39	計算結果がキャスク下部接触部の評価に包絡されると、あるんですけども、
1:14:49	これ審査ガイドを見ますと、
1:15:02	D、
1:15:05	4.3. 1.5 耐震性評価の審査に確認事項があつて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:14	許容限界で設定する企業原価を超えていないことで、
1:15:19	密封境界部以外の部位は、荷重に塑性ひずみが生じる場合であってもその量が小さなレベルにとどまって、
1:15:29	ハダの衛生原価に対して十分な余裕を有することということで、
1:15:34	定量的な評価を求めていますので、
1:15:38	ここは何らかの形で、ちゃんと給与原価に対して、そこがしっかり収まっているってところは定量的にちょっと示していただきたいと思いますので、
1:15:48	ここは、
1:15:52	この場ではちょっとヒアリングで事実確認の、
1:15:55	確認になりますけども、この件は
1:15:59	書面の
1:16:01	審査会合の指摘事項の中で明確にさせていただきますので、そのあと後日ちょっと回答をお願いできればと思います。
1:16:10	このうちNジャンプの三枝です。
1:16:12	現在の我々の評価では、許容限界を超えてないコウコウカ、
1:16:17	以下ですので、その裏の、
1:16:20	ことを、どれくらい定常的に超えかっているところはいかないと考えてますので、
1:16:27	その辺を、もし市長がもう、もう1回詳しくちゃんと説明します。
1:16:32	その他に今の資料で、具体的にどこでどう読めば、確認できますか。パワーポイントですと14ページの
1:16:43	キタノ、右上の図、オレンジで囲った部分、エーワンという断面セキと、
1:16:49	右の、AIIという固定装置がキャップをするような面積と比べていて、
1:16:57	つつ断面の大きさよりも湾の断面の方が小さいので、
1:17:04	逆に言えば、ハタラ効力発生層力は、
1:17:08	Jワンに発生する断面積。
1:17:11	発生する応力は、AIIに発生する応力を小さいと、ドイツに明日は働く断面セキの効力はコウコウカ以下ですので、
1:17:21	当然エーワンに働く応力の降伏応力以下と。
1:17:24	いう考えです。
1:17:42	それを定量的に示してくださいってことなんですけどそれはできないということですか。
1:17:48	降伏応力以下ってことを申し上げているので、
1:17:58	発生する応力はコウ効力以下と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:02	今、
1:18:06	大田になってるのは、
1:18:09	そう。
1:18:10	具体的な定量的な数値という。
1:18:12	ことでしょうか。
1:18:14	それはこれで、
1:18:16	断面セキがわかってるので、
1:18:18	計算可能だと考えますけども、
1:18:22	はい、わかりましたそれを含めて証明審査会合で指摘したいと思います。
1:18:34	一応事実確認日での確認はこれで以上と。
1:18:40	なりますけども、ちょっと櫻井の方から1点確認があるということでちょっと今席を外してしまいましたので、ちょっと戻り次第、
1:19:02	それ以外でこちらから確認したい点ありますか。戸谷さん何かありますか。ないですか。
1:19:11	そうそう。
1:19:12	堀野さんのちょっと、
1:19:14	はい。はい、じゃあ吉村さん、お願いします。
1:19:18	これはちょっと質問というよりも、
1:19:22	記載の中身をちょっと記載をちょっと出して欲しい。
1:19:28	ちょっと今日、
1:19:30	提起できませんでしたが、
1:19:32	うちの方でチェックして、
1:19:34	コメントだけ
1:19:42	資料のちょっとページでちょっとご説明します。
1:19:46	あとですね、
1:19:49	まず
1:19:51	いずれも全部補足説明資料の方の夏以降なんですけど、
1:19:56	19 ページ 19 ページのところですね、
1:20:07	表 2 っていうのがありましてその中に注 2 っていうのがありますよね、注 2 というところで、評価基準の考え方については図 2 を、
1:20:17	参照というふうに、
1:20:20	なってるんですけど、評価基準の、この図 2 っていうのはその 16 ページ一、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:26	が図の上の方が 12 なんですけどこれ、この絵を、これ自体が評価基準を示す。
1:20:33	風評ニワななっていないんです。なっていないのでこの説明と、
1:20:39	さしてる図が不一致不一致じゃないですかというのがまず第 1 点です。
1:20:45	ちょっとこれ確認してください。それから、
1:20:48	続けて申し上げますと、
1:20:58	28 ページですね 28 ページG2、
1:21:04	荷重条件っていうふうに、2.2 項、2.25 かな、荷重条件という項目。
1:21:12	1 の 1.2. 2 ですね。
1:21:15	この荷重条件に記載されてる内容を見ると、
1:21:19	衛藤地震加速度能話しか書いてなくて、
1:21:24	一般的に荷重条件というとその荷重の組み合わせとかですね、そういったものを書いていただくのが、基本的になってる基本なのでここには
1:21:35	地震加速度の件だけしか書いてないので、もし荷重条件というタイトルにするのであれば、荷重の組み合わせ等を含めて、補足してください。
1:21:46	ということです。
1:21:49	それから一へ。
1:21:52	あと 30 ページですね。
1:21:55	30 ペイジーで、表A-1-1 という、
1:22:03	ものがありますが、その日表A-1-1 のタイトルで評価項目、
1:22:11	制限応力基準値とかタイトルありますね。書き方が、他に
1:22:22	例えば 41 ペイジーだったり、
1:22:26	見ますと、
1:22:29	41 ページだと評価部位、この表す。
1:22:34	制限応力って書いてる部分は、ここでは評価項目に、
1:22:39	なってるんですねそれから、
1:22:41	ちょっと、
1:22:43	田井とルーがですね、記載の仕方がちょっと整合とれてないので、これも確認してくださいということです。
1:22:56	それから、
1:23:12	以上ですね、
1:23:18	以上、以上ちょっと私の方から今、指摘させていただいた点についてちょっと資料、
1:23:26	求める際にちょっともう一度見直してください。
1:23:29	配置アースジャパンの三枝です。了解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:37	その他何かありますか。櫻井さん。はい。
1:23:47	すいませんみずほの話じゃないですけど、安心行動の、
1:23:52	使用する解析コードで、補足説明資料P21 ですけど、これにもちょっと追加して欲しいなっていうのがあってよく除熱とか、臨界とかで、
1:24:04	解析コード載せる時に計算フロー解析フローって多分載せると思うんですけど、
1:24:09	かければこのシスココードも、このどういう情報を入れて解析もしてるかっていうフローを、
1:24:17	ですから、
1:24:20	と。
1:24:22	16 ページの図の、
1:24:24	ミイみたいな。
1:24:26	感じに入れてもらえればいいかなと思います。4 ポツの使用実績 0 っていうのがあって、
1:24:34	でもよくこれって使用実績 0 及び検証みたいなことを書いてることが多いので検証もされていればそれについての記載も追記お願いします。あとこれちょっと、
1:24:47	長谷千野か教えて欲しいんですけど、この
1:24:51	参考文献の、
1:24:53	括弧 2 の、東北電力の計算機プログラムの概要、ちょっと 2021 年 9 月の
1:25:01	東北の資料が多すぎて、ちょっと今探せてなくて、
1:25:06	何月何日とかっていうのを教えてもらう、後ででいいので教えてください。以上です。
1:25:16	はい。ジェームスジャパン材薄れず、
1:25:19	了解しました。
1:25:25	すいません今の二つ目のご質問で、
1:25:30	22 ページの使用実績 0。
1:25:33	について、
1:25:34	検証とあわせてという、
1:25:37	ことだったと思いますが 21 ページの方に検証については、
1:25:41	説明しては、
1:25:58	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:06	規制庁マツノです。一応本日のヒアリングでのこちら側の確認事項は以上となりますけども、全体通してGNSから何か確認したい点がありますでしょうか。
1:26:31	では本日のヒアリングはこれで終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。